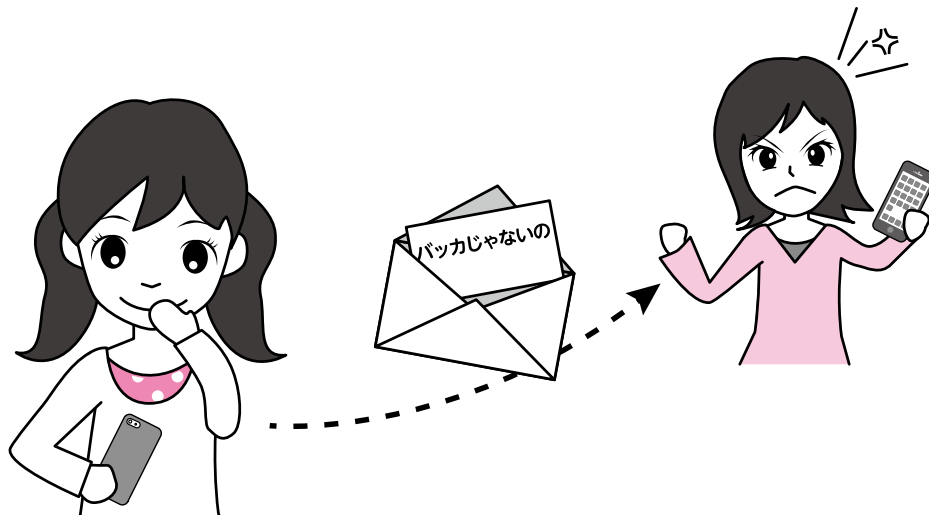


事例5 友だちへ送ったメッセージが誤解された

最近、栄子さんはスマートフォンを買ってもらいました。栄子さんは自分用のスマートフォンで友だちと熱心にメッセージのやりとりをするようになりました。栄子さんは、仲の良い友だちとの会話の中でいつも冗談半分で「バッカじゃないの」と言っています。ある時、普段あまり話をしない、よし子さんにメッセージを送信するときに同じように軽い気持ちで「よし子、バッカじゃないの」と書いて送信しました。

メッセージを見たよし子さんは大変腹をたててしまい、二人はそれ以来口をきかなくなっていました。

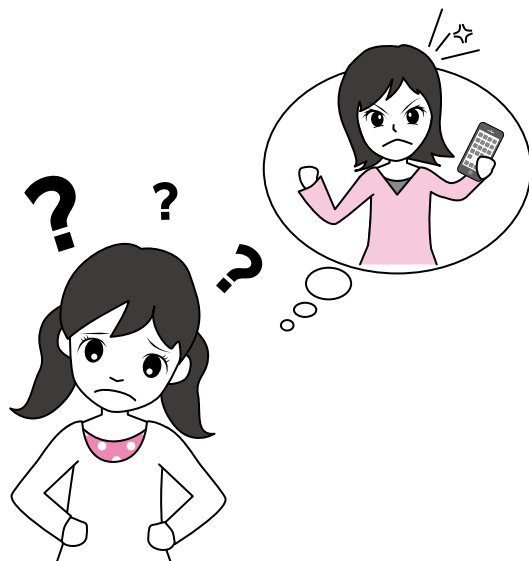


この事例の問題点は？



グループワークで考えてみましょう！

- 文字だけのコミュニケーションでは何に気を付けなければならないのでしょうか？
- 相手に誤解を与えないようにするにはどうしたらよいのでしょうか？
- メッセージのやり取りから子供が友だちとケンカしてしまった場合、親としてはどうすればよいのでしょうか？



参照 P26 インターネット上でのコミュニケーションの注意点



親子で話し合うつもりで考えてみましょう!

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子： 栄子さんは軽い気持ちで書いていただけなのに・・・よしさんは、なんで怒るのかな？

親： *その時、どのように答えますか。*



質問例②

子： 真面目に受け取っちゃったよしさんの方がいけないんじゃない？

親： *その時、どのように答えますか。*



この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。



実際に「ルール」を作ってみましょう!



作り方は35ページ!

子供が宣言したルールを守れていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。



私の宣言書 (子供に宣言させましょう)	1週間後	2週間後	
子供の宣言文：私は、メールを書くときには相手の立場を考えて書きます。 約束を守れなかったら、○週間、スマートフォンをつかいません。			
子供の宣言文：私は、冗談でも相手を傷つけるようなメールは送りません。 約束を守れなかったら、直接あやまりに行きます。			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			